

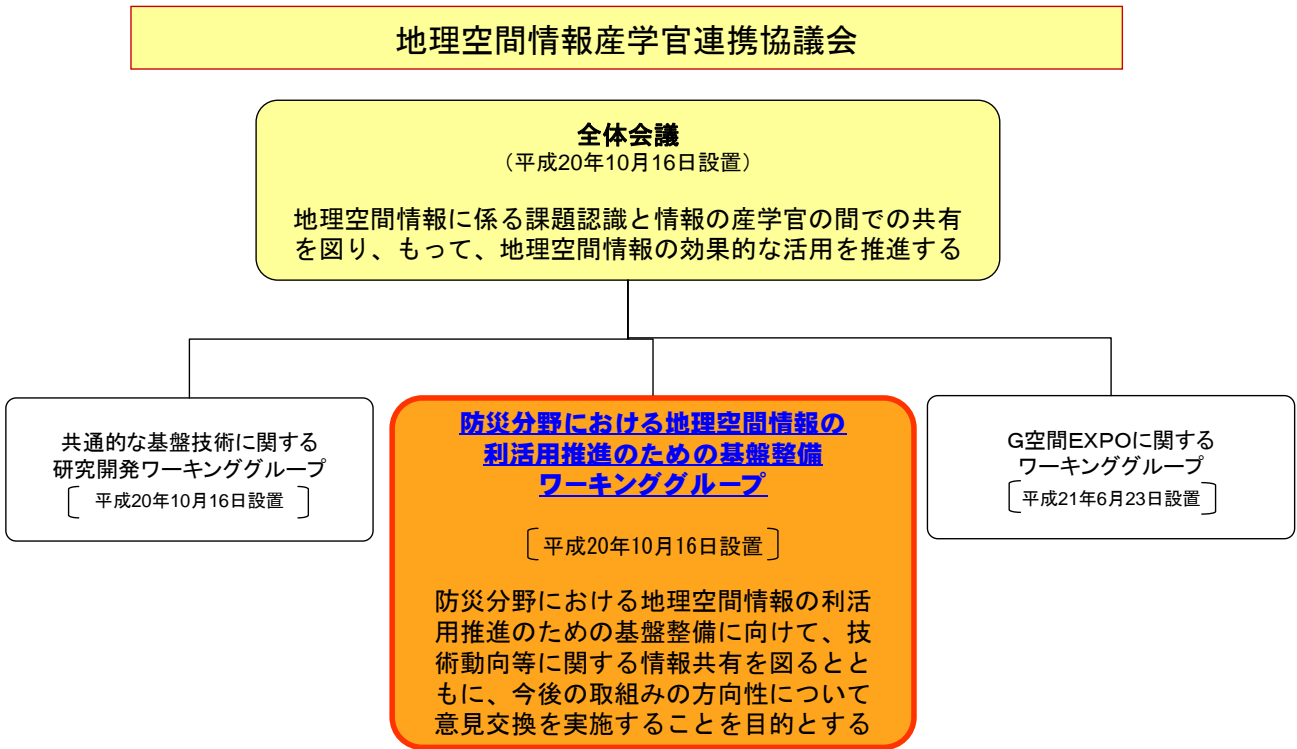
## 防災WGの概要とH21年度の検討成果概要

### 1. 防災WGの目的

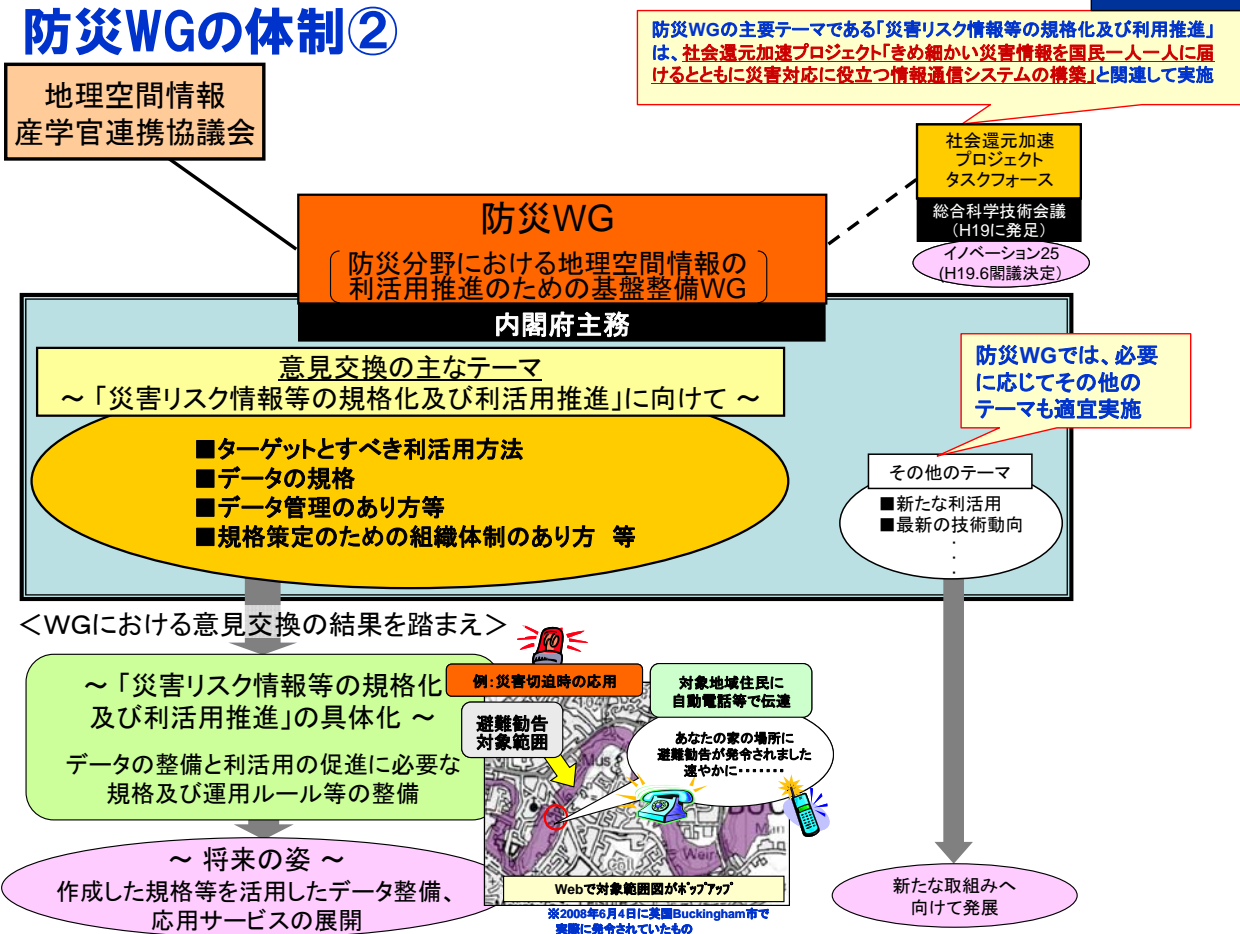
「防災分野における地理空間情報の利活用推進のための基盤整備ワーキンググループ」では、主要テーマである「災害リスク情報等の規格化及び利活用推進」の実現に向け、主に以下について意見交換

- **データ所在の見える化**  
(**災害リスク等を流通(利用促進)させるための基盤整備**)  
※以下、データ流通基盤という
- **データ仕様の明確化・共通化**  
(**統合利用可能な災害リスク等の規格化**)

# 防災WGの体制①



# 防災WGの体制②



## 2. H21年度の検討項目

- H21年度は以下の事項を中心に実施
  - ◆ 災害リスク情報等を広く流通させるための基本構成・機能等の具体化
  - ◆ 利便性の高い災害リスク情報等の整備・流通に資するデータ仕様、メタデータ仕様等に係る規格化作業（一部の災害分野※）

※『地震被害想定データ及び津波被害想定データ』

『洪水被害想定データ』

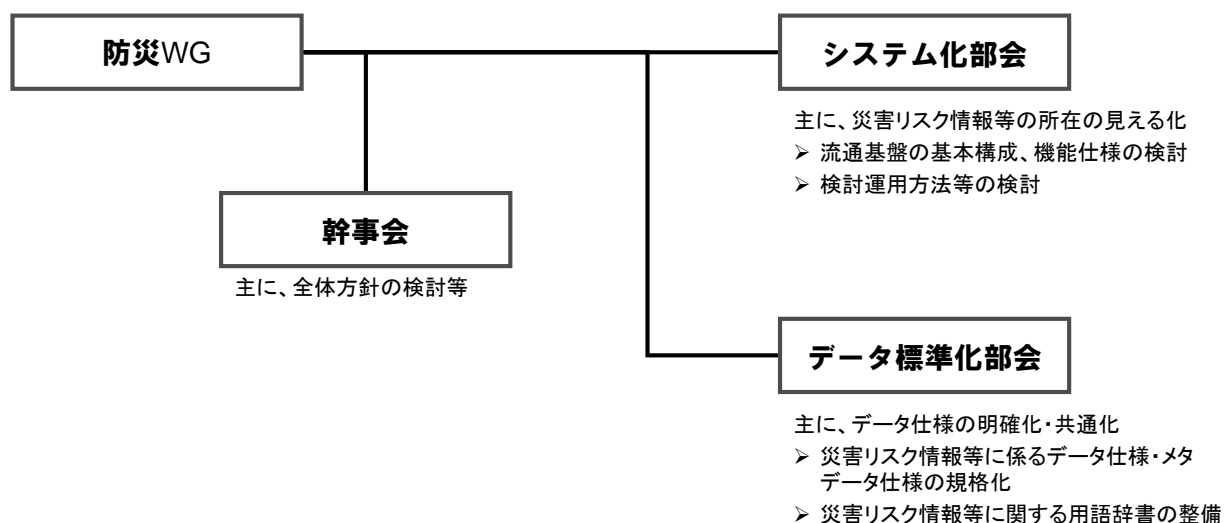
『土砂災害被害想定データ』

『道路・公共交通機関被災情報』の4つの災害リスク情報等について実施。

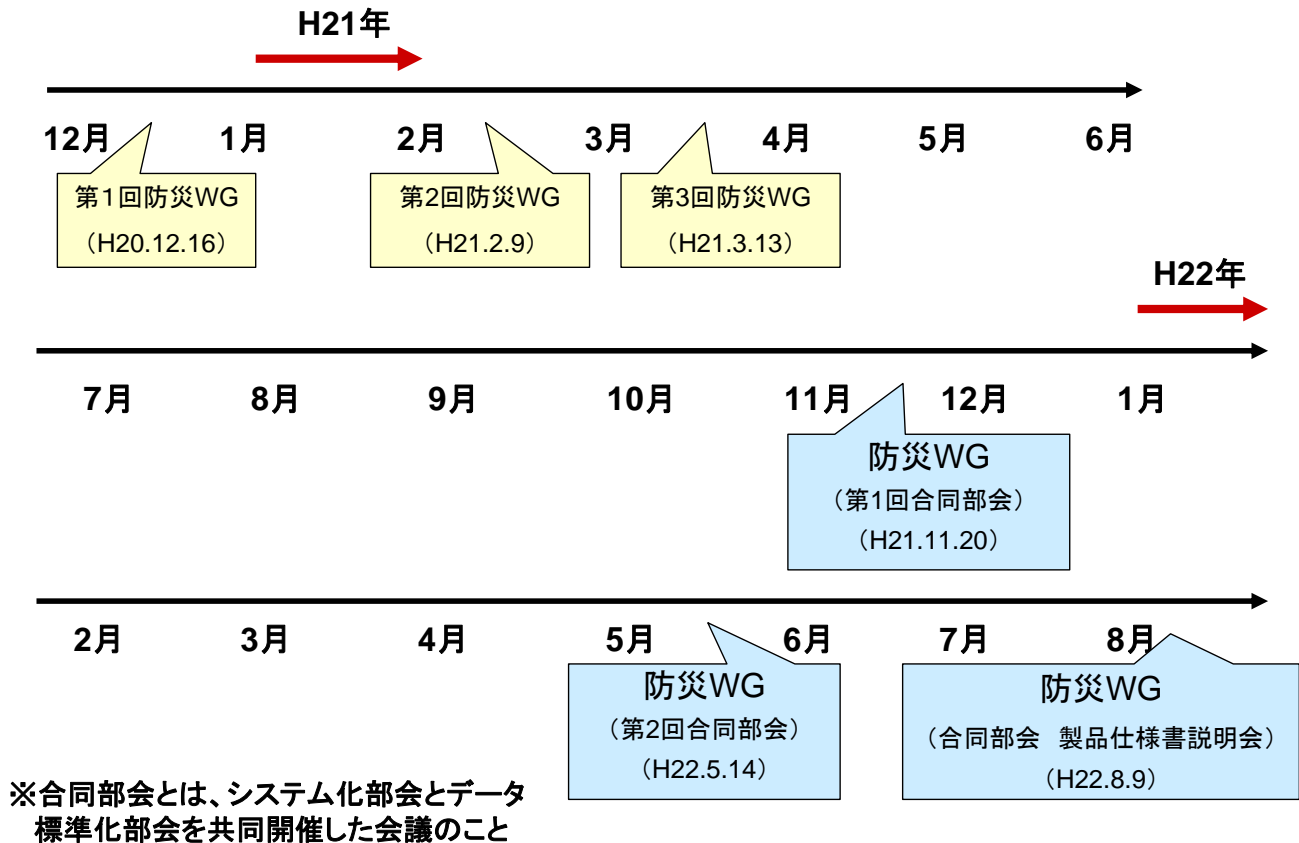
### 規格化作業の位置づけ

規格化作業は、本来、当該災害分野を主に所管する機関が実施することが効率的且つ実用的である。ただし、検討方針等が明確にならないまま各機関で進めた場合、全体で整合が図れない可能性があるため、本WGにて基礎検討を行ったものである。

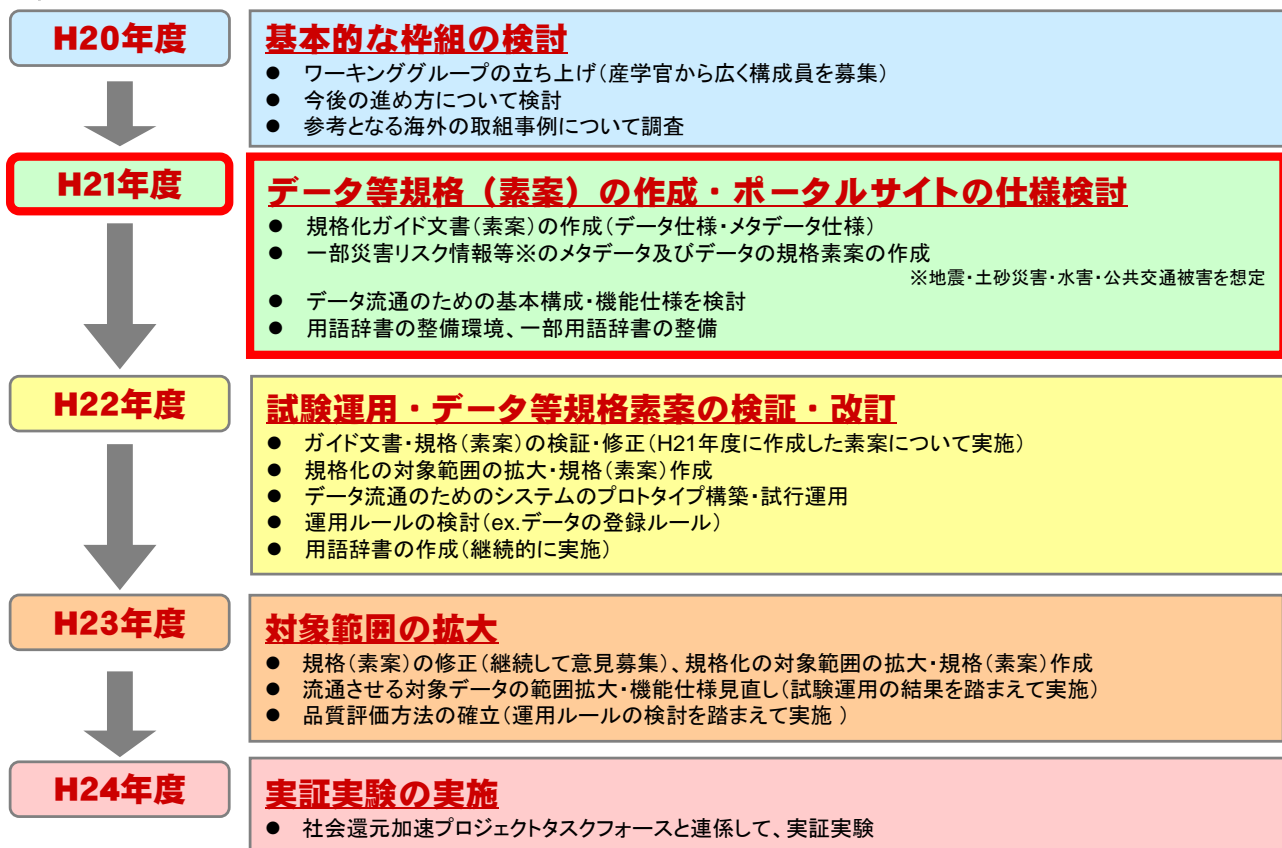
## 3. これまでの検討体制



## 4. これまでの活動



## 災害リスク情報見える化のロードマップ



## 5. データ所在の見える化 (災害リスク等のデータ流通基盤整備)

### 実施内容

- 災害リスク情報等の流通に係る基本構成の検討
- 災害リスク情報等を流通させるために必要となる機能の検討
- 運用方法等の検討

### H21年度の検討事項

- 将来的な基本構成を構想した上で、プロトタイプとして対象範囲を明確化
- プロトタイプシステムの要件及び機能仕様の作成

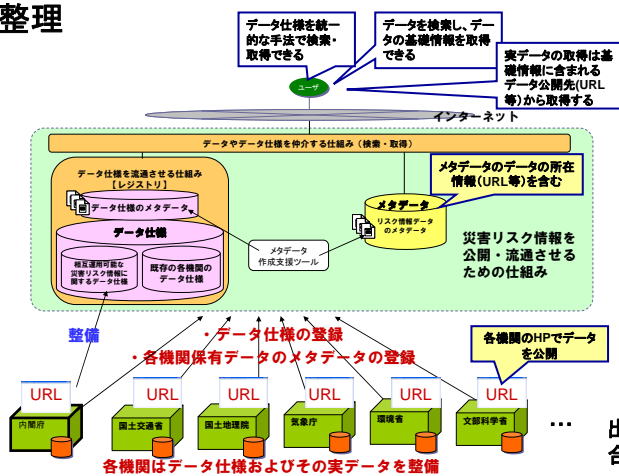
### <H21年度の検討成果(事務局素案)>

□ データ流通基盤の基本構成と対象範囲(事務局素案) 資料2【活動報告補足】のP.8 参照

□ 機能要件・機能仕様(事務局素案) 資料2【活動報告補足】のP.9～11参照

### □ データ流通基盤の基本構成と対象範囲(事務局素案) 資料2【活動報告補足】のP.8参照

- 諸外国の先進事例を参考にした上で、災害リスク情報等を流通させるためのデータ流通基盤の基本構成を整理
- 国が果たすべき役割や運用性を踏まえ、データ流通基盤が備えるべき機能の優先順位を整理



出典: 第1回システム化部会・データ標準化部会 合同部会 資料4

### □ 機能要件・機能仕様(事務局素案)

資料2【活動報告補足】のP.9～11参照

- 上記の基本構成と対象範囲に基づき、機能要件・機能仕様を整理
- 本機能仕様に基づきH22年度にデータ流通基盤のプロトタイプシステムの試行運用を計画

## 5. データ仕様の明確化・共通化 (統合利用可能な災害リスク等の規格化)

資料2【活動報告補足】のP.24～参照

### 実施内容

- 災害リスク情報等に係るメタデータ仕様の規格化
- 災害リスク情報等に係るデータ仕様の規格化
- 各機関毎の用語の違い等を整理した用語辞書の整備

### H21年度の検討事項

- 一部の災害リスク情報(洪水被害想定データ、地震被害想定データ、土砂災害被害想定データ)
- 一部の被災情報(道路被害情報、公共交通機関被害情報等)

### <H21年度の検討成果(事務局素案)>

- 災害リスク情報等の規格化ガイド文書(事務局素案)
- 災害リスク情報等のデータ製品仕様書(事務局素案)  
(地震、津波、洪水、土砂、道路交通機関被害)
- 災害リスク情報等メタデータ仕様書(事務局素案)
- メタデータエディタ(事務局素案)
- 用語辞書の整備環境(事務局素案)

### □ 災害リスク情報等の規格化ガイド文書(事務局素案)

資料2【活動報告補足】のP.29参照

- 災害リスク情報等を規格化する際の検討手順を整理
- 検討の流れや規格化成果(仕様書)の構成等を規定

### □ 災害リスク情報等のデータ製品仕様書(事務局素案)

資料2【活動報告補足】のP.30～39参照

- 「災害リスク情報等の規格化ガイド文書」に基づき、一部の災害リスク情報等について規格化
- H21年度は以下の規格化を実施。
  - 地震被害想定データ製品仕様書
  - 津波被害想定データ製品仕様書
  - 洪水被害想定データ製品仕様書
  - 土砂災害被害想定データ製品仕様書
  - 道路被害情報・公共交通機関被害情報製品仕様書

### □ 災害リスク情報等メタデータ仕様書(事務局素案)

資料2【活動報告補足】のP.40～42参照

- 「災害リスク情報等の規格化ガイド文書」に基づき作成した災害リスク情報等を管理するためのメタデータ仕様(共通的に利用)を作成

## □ メタデータエディタ(試作)

資料2【活動報告補足】のP.20～23参照

- 災害リスク情報等メタデータ仕様書に基づくメタデータを作成するためのツールを試作
- Web上でメタデータを作成するための機能を構築

## □ 用語辞書の整備環境

資料2【活動報告補足】のP.12～19参照

- 災害リスク情報等に係る用語の定義等を整備するための環境を構築
- H21年度の規格化作業において取得した既存の用語定義の一部を登録

## 成果の相互関係

### □災害リスク情報等の規格化ガイド文書

検討手順の提示

### □災害リスク情報等のデータ製品仕様書

- 地震被害想定データ製品仕様書
- 津波被害想定データ製品仕様書
- 洪水被害想定データ製品仕様書
- 土砂災害被害想定データ製品仕様書
- 道路被害情報、公共交通機関被害情報製品仕様書

利用用語の登録

### □用語辞書の整備環境

### □災害リスク情報等メタデータ仕様書

メタデータ項目の作成

### □メタデータエディタ(試作)

